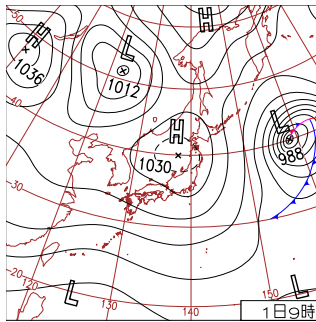


2011年 11月

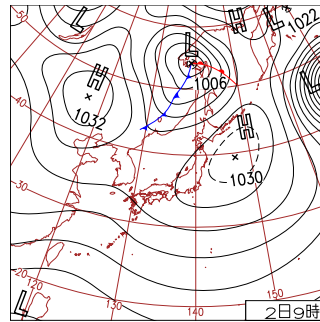
- ・11月上旬としては、西日本で統計開始の1961年以降最も高い平均気温を記録。
- ・18日、鹿児島県で竜巻による被害が発生。
- ・25日、西日本を中心に最低気温低く、宮崎で初霜・初氷を観測。

(気象庁予報部予報課)



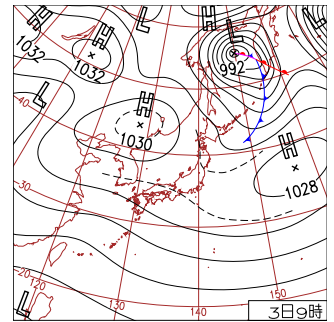
1日(火) 西日本各地で夏日

移動性高気圧に覆われ南西諸島などを除き広く晴れて気温上昇。最高気温は全国的に平年より高く、福岡県久留米市津福本町27.1℃など九州～近畿で11月の記録更新。



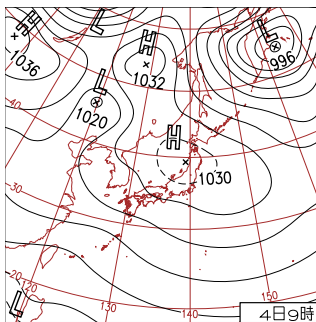
2日(水) 奄美大島で記録的大雨

奄美大島付近で対流雲が発達し記録的大雨に。鹿児島県瀬戸内町古仁屋143.5mm/1hは観測史上1位を更新し国内歴代9位。最高気温は全国的に平年より高く、北陸で夏日。



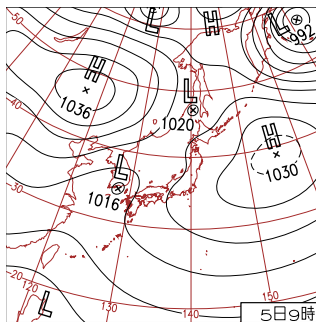
3日(木) 気温の高い日が続く

北海道は晴れたが、本州付近は2つの高気圧の谷間にあって雲が多く、雨の所も。気温は全国的に平年より高く、沖縄から九州の一部で最低気温は9月中～下旬並。



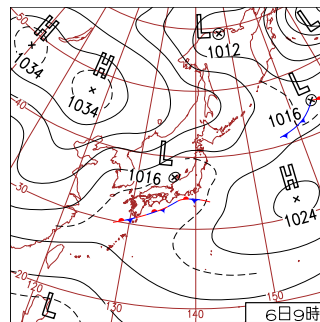
4日(金) 帯状高気圧に覆われる

本州付近は概ね晴れたが、南西諸島～九州では曇り、一部では雨。西日本を中心に夏日となり、最高気温は11月の観測史上最高が多数。札幌、函館で平年より約1週間遅く初氷。



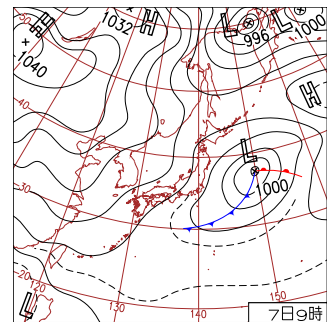
5日(土) 西から雨

低気圧や湿った空気の流れで、日中は西日本中心、夜は関東や東北なども雨。北海道は別の低気圧の影響で曇りや雨。西日本や東海で最低気温が平年より7～10℃高い。



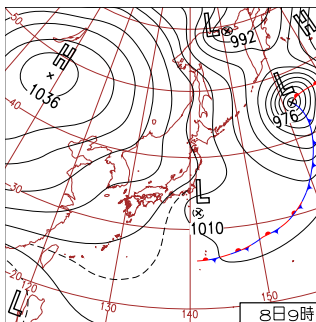
6日(日) 沖縄、九州で激しい雨

低気圧や前線の影響で全国的に曇りや雨。沖縄県沖縄市胡屋44.5mm/1hなど沖縄と九州で激しい雨。最低気温は全国的に平年よりかなり高く85地点で11月の記録更新。



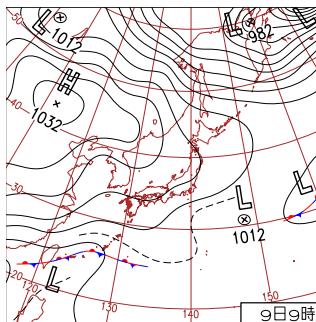
7日(月) 気温高め

西日本や本州の太平洋側は晴れ、日本海側や北日本は雨や曇り。最低気温は9月下旬～10月上旬並と高く、最高気温も九州や関東は10月並と高く、関東は9月下旬並の地点も。



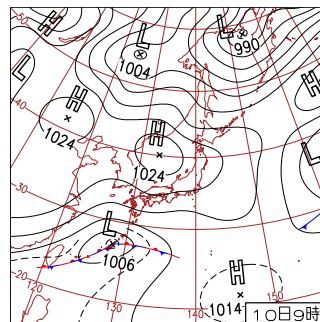
8日(火) 立冬 気温は平年並に

本州付近は概ね晴れ。北から冷たい空気に覆われて、日本列島もようやくこの時期本来の寒さに。最高気温は九州南部を除き平年並。沖縄本島北西沖M7.0地震で名護市等震度4。



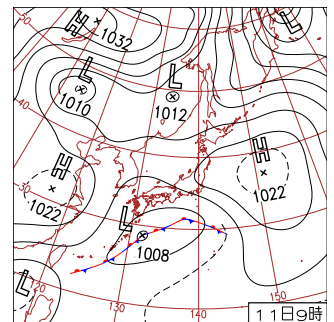
9日(水) 高気圧に覆われる

西～北日本は高気圧に覆われ、日本海側の一部で雨や曇りだが、その他は、雲は多めながらも晴れ。南西諸島～九州南部では前線の影響で雨。沖縄県南城市糸数で72mm/1h。



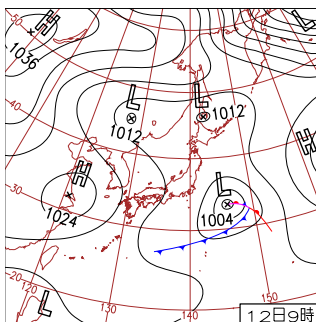
10日(木) 北日本は朝冷え込む

高気圧に覆われた北日本は晴れ、その他は曇りや雨。北日本太平洋側の最低気温は平年を3～5℃下回り、北海道標茶町開運で-7.2℃。盛岡・山形で初霜、盛岡は初氷も。



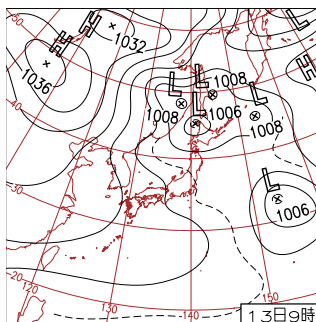
11日(金) 関東など冷たい雨

低気圧の影響で近畿～東南北部は雨、和歌山県新宮で41.5mm/1h。東京、横浜、埼玉、千葉は日中気温低く昼過ぎに最低気温観測。北海道は晴れて最高気温は平年を6～7℃上回る。



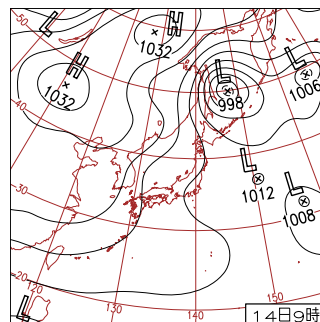
12日(土) 天気回復

北日本を中心に広く晴れたが、午後は気圧の谷が通過した東～北日本で雲が広がる。最低・最高気温ともに平年より高く、全国的に10月並。北海道では最低気温が9月並の地点も。



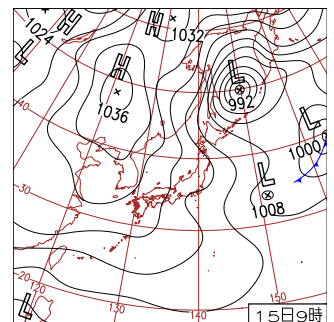
13日(日) 本州各地で放射霧

北海道付近を低気圧が通り、北陸から東北で一時的雨。気圧の谷の影響で積乱雲が発達、沖縄県竹富町大原で56mm/1h。本州は晴れた所が多く、朝方に川沿いや盆地で放射霧が発生。



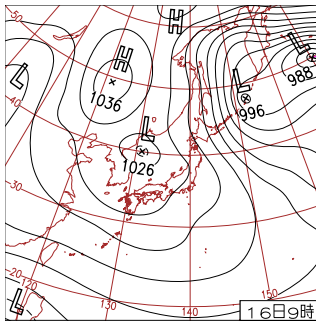
14日(月) 札幌で遅い初雪

朝の最低気温は全国的に平年より高く、東～北日本は10月並であったが、北日本では午後寒気が入り最高気温は平年並に下がる。札幌で初雪、1876年以降、3番目に遅い記録。

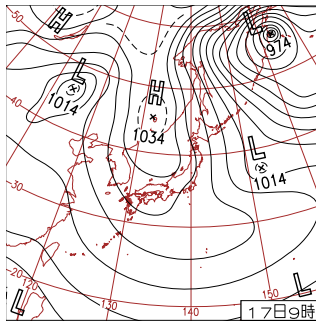


15日(火) 北海道～東北北部は雪

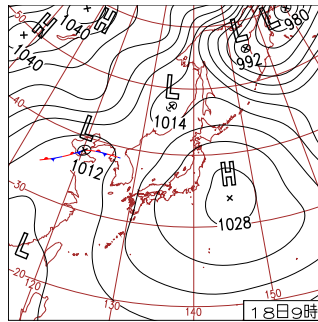
北日本を強い寒気が南下。北陸～北日本日本海側は雪や雨となり、青森市酸ヶ湯で日降雪量30cm。北海道は平地でも積雪、標茶町開運で最低気温-8.9℃。青森、盛岡、秋田で初雪。



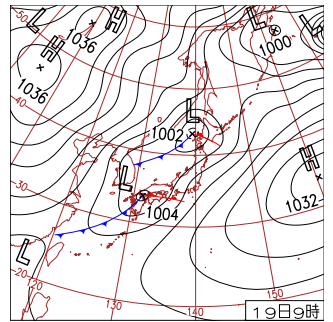
16日(水) 関東甲信も初雪や初霜
強い寒気により北海道岩見沢市5条降雪量53cm/日で、降水量は11月1位の79.5mm/日。東日本も冷え込み、宇都宮、水戸、甲府で初霜。長野では初雪となり、浅間山などで初冠雪。



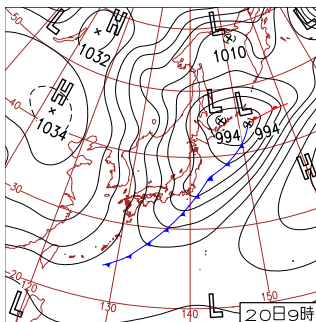
17日(木) 北日本は冷え込み続く
寒気の影響が続き、東北や北海道の最低・最高気温は平年よりも低く12月並の地点も。青森市酸ヶ湯は3日連続真冬日。北海道の日本海側で雪。九州は気圧の谷の接近により午後雨。



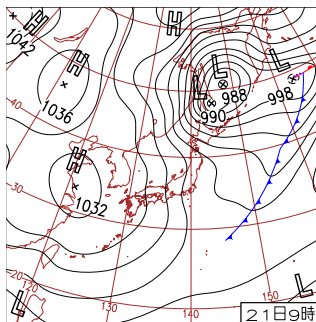
18日(金) 徳之島町で竜巻
南からの暖かく湿った空気により九州で大雨、鹿児島県徳之島町轟木で竜巻が発生し死者3名。長崎県では100mm/1hを超える猛烈な雨の降った所も。仙台・長野他で初霜や初氷。



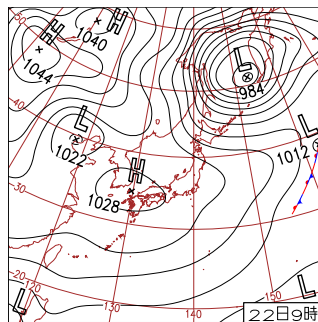
19日(土) 二つの低気圧通過
列島は日本海と太平洋沿岸を進む低気圧の影響で大荒れ。南西諸島から本州太平洋沿岸にかけて大雨や暴風。鹿児島県鹿屋市寿で64mm/1h。和歌山県友ヶ島で最大風速27.3m/s。



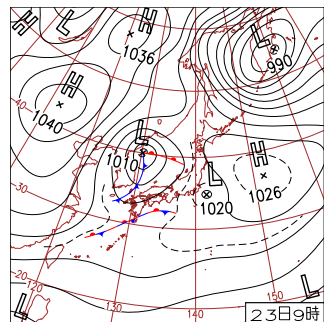
20日(日) 東海～関東で夏日
冬型気圧配置。山陰から北の日本海側は雨。北海道の雨は夜雪に変わる。西～東日本太平洋側は概ね晴れ。低気圧が持ち込んだ暖かな空気の影響で、静岡県清水で最高気温26.8℃。



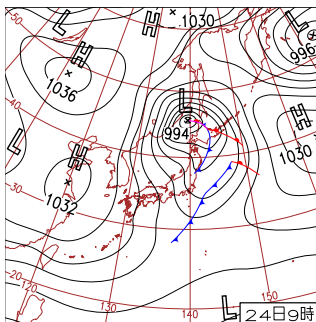
21日(月) 札幌で真冬日
冬型気圧配置強く日本海側は雪や雨、北日本で積雪。東～北日本の最高気温はほぼ全域で前日より6℃以上低下。北海道は札幌などで真冬日、えりも岬など暴風。新潟初雪。



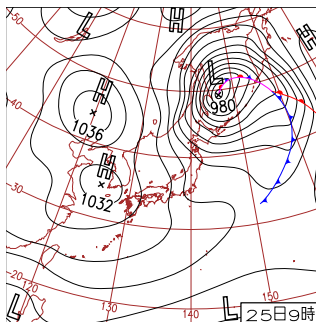
22日(火) 冬型緩み、寒い朝
移動性高気圧に覆われ、晴れて放射冷却が強まり、朝の最低気温は全国的に平年より低く、九州では真冬並の地点も。宇都宮・水戸・熊谷・甲府・奈良で初氷。



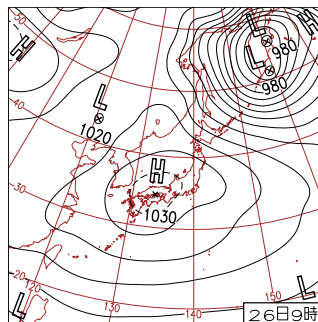
23日(水) 日本海沿岸で雷多発
低気圧が急速に発達しながら日本海を東北東進。また停滞前線が本州南岸を東進。これらにより雨域が朝の九州から夜遅くには北海道まで進んだ。日本海海上と沿岸で雷多発。



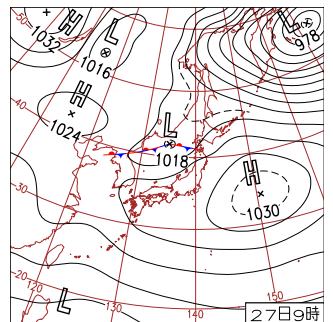
24日(木) 冬型の気圧配置強まる
日本海北部で低気圧が発達し、日本付近は冬型の気圧配置へ。南西諸島から東日本太平洋側では概ね晴れ。日本海側では雨や曇りで、北日本では、午後、雨から雪に変わる。



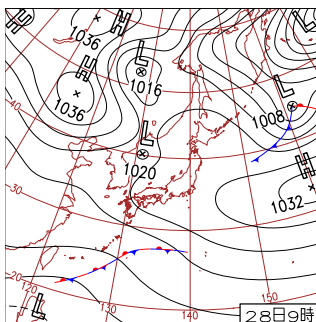
25日(金) 九州からも冬の便り
西～東日本は冬型が緩むが、北日本は風雪が続く。西日本を中心に最低気温が12月上旬～1月中旬並となった所も多く、静岡・宮崎で初霜、宮崎で初氷。



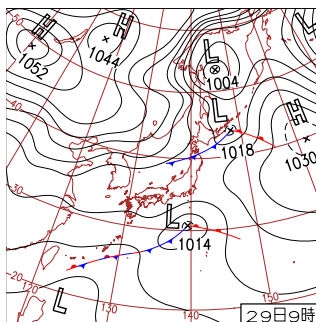
26日(土) 冬型の気圧配置緩む
移動性高気圧に覆われ晴れて最低気温は西～東日本で平年より低く、岐阜・高松で初霜、仙台・前橋で初氷。日中の最高気温は東海・関東を除き全般に昨日より高い。



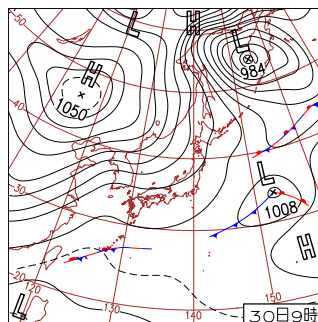
27日(日) 福島で初氷
前線を伴った低気圧の通過により北日本は雨や曇り。高気圧に覆われた西～東日本は晴れたが、午後は薄雲が広がる。初氷を観測した福島の最低気温は12月下旬並。



28日(月) 高気圧 遠ざかる
本州付近は気圧の谷の中で、高気圧後面の暖かい空気の流れ込んだ奄美や九州の一部で雨、本州は広く曇り。北海道は高気圧の勢力下で晴れ。大阪市と滋賀県彦根市でイチヨウ黄葉。



29日(火) 暖かい一日
北日本と南西諸島では、前線の影響で曇りや雨。その他は太平洋沿岸で雲が多いものの概ね晴れ。気温は最低、最高共に西・北日本では10月～11月上旬並。その他は11月中旬並。



30日(水) 北から寒気押し寄せる
西～東日本は晴れて20℃前後の暖かさの一方、寒気に覆われた北日本は最高気温が前日から5～10℃低下。天気も次第に雪。前線に近い沖縄は激しい雨、名護市宮里で66.0mm/1h。